

YMCA News 4



「リーダー会長になって」



先輩リーダーたちを見て、「うらやましい!私も仲間になりたい!」と思ったあの大学1年生の春から、3年が経ちました。これまでの3年間、沢山YMCAに関わらせていただき、今年度からはリーダー会長を務めることになりました。これまでの活動を通じて、多くのリーダーや子どもたちと過ごす中で、自分では気がつかなかった自分に気づくことができました。自分の個性を皆が受け止めてくれて、自分の一つの良さになったような気がしています。もちろん良い部分だけではなく、自分の未熟な部分や弱い部分にも気づかされて悩んで逃げ出したくなったり、目を背けたくなったりしました。

そんな時にも、笑顔で待っていてくれる子どもたちの存在や、温かく支えてくれるリーダーやスタッフの存在は、私の大きな力になって、背中を押してくれていたと改めて感じます。こんなに人と関わりながら成長する機会をもらっていることに感謝したいです。

3月で、私がずっと行き続けていた宮古サッカースクールが、10年間の活動を終わりました。私にとって大きな別れです。今は、毎週当たり前に会えていた子どもたちに会えなくなることの寂しさでいっ

ぱいです。子どもたちの、相手を思いやる姿や、みんなでいることを心から楽しんでいる姿から、皆でやるからこそサッカーは楽しいのだということも、教えてもらいました。

最後の宮古サッカー大会で、6年生の男の子が、「サッカースクール楽しかったなあ。」と言ってくれました。これからも、YMCAでの思い出が1人1人に残っていてほしいです。そして、いつかどこかで、大きくなった皆と再会できたらと思います。

私が盛岡YMCAにいられるのは残り1年となってしまいましたが、まだまだチャレンジして、子どもたちに負けないくらい成長していきたいです!

岩手大学3年
齋藤七穂(おむすびリーダー)



盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。



1月 スノーチューブで遊んじゃおう♪

こんにちは、はっちです! 私からは、1月野外活動の報告をさせていただきます。私たちは、1月31日に子どもたち30人、リーダー9人、スタッフ2人の総勢41名で、岩手山青少年交流の家を会場に、雪遊びとスノーチューブをしました。盛岡駅に集合し、岩手山青少年交流の家に向かうバスでは、リズムゲームとクイズをしました。子どもたちは、リーダーが出すクイズに興味津々でした。

青少年交流の家に到着し、午前中は外で「冬期オリンピック2021」と題して、雪玉づくり、雪玉入れ、雪像づくりをして、グループで競いました。雪像づくりでは、雪玉3つ作り重ねたグループ、子どもも作品の一部にしたグループ、リーダーを埋めてリーダー雪だるまを作ったグループがいて、それぞれの個性を爆発させて作品を作っていました。午後は、みんなでスノーチューブに乗って雪山を滑りました。子どもたちは、滑るときのスピードに、みんなわくわくしていました。

た。スノーチューブに乗って運ばれていく子もいましたが、運ばれているときの顔は、とてもほほんとしていました。別の場所では、雪遊びをしていた子もいました。自分の身長より大きい雪だるまを協力して作ったり、かまくらを作ったりする中で、みんなで協力してひとつのものを作る達成感を感じていました。

野外活動の日は運がよく、ふかふかの雪が積もっていて、冬ならではの遊びを思い切り楽しむことができました。ありがとうございました。次の活動も、とても楽しみです!



佐藤亜美(はっちリーダー)

2月 オリジナルソリを作って遊ぼう♪

こんにちは! はっちです! 私たちは、2月28日(土)に、2月の野外活動に行ってきました。場所は岩手山青少年交流の家で、子どもたち26名、リーダー11名、スタッフ2名での活動となりました。

朝、盛岡駅に集合してバスに乗り出発。バスの中では、早口言葉や旗揚げゲームなどをしました。早口言葉といっても、リーダーの名前を入れるなど、アレンジをして楽しみました。

岩手山青少年交流の家に到着したら、さっそくソリづくり開始。デザインを考え、テープなどを使って工夫し、一生懸命みんなで協力してソリを作っていました。思い描いたデザインになるように、テープの形を整えたり、ペンで描いたり、友達に手伝ってもらいテープを貼ったりしていました。完成したソリは多種多様なデザインや形で、T字型のソリやお家型のソリ、新聞紙の切り抜きを貼ったソリなどがあり、子どもたちの個性がとても出ているなど感じました。「そのソリ面白い!」「かわいい!」などの会話がたくさん聞こえました。

お昼を食べ、午後はフリータイム。外にはそり滑りにちょうどよい坂があり、午前中に作ったソリで滑っていました。結構な斜面だったので、最初は少し怖がっていた子もいましたが、一回滑ると、スピードが出て楽しい!と、何回も坂を上り、そり滑りを楽しんでいました。

外ではソリ滑りだけではなく、大きな雪玉づくりをしている子や、雪でオブジェを作っている子、落とし穴を作ってリーダーにいたずらを仕掛けている子などもいました。青少年交流の家の中では、引き続きこだわりのソリ作りをしている子や、コントを作ってみんなに披露している子などもいて、午後の時間は、子どもたち思い思いのやりたいことを思い切りできた時間となりました。

今回の野外活動はソリ作りということで、今まで以上に子どもたちの個性が光る活動で、一緒にソリを作っていてとても楽しかったです。また次の活動がとても楽しみになりました。ありがとうございました!

佐藤亜美(はっちリーダー)



3月 春の森探検隊!!

こんにちは! おむすびから、3月のちきゅうと、あそぼう。の報告をさせていただきます。3月は、「春の森探検隊」ということで、八幡平市の岩手県民の森を訪れて、子ども21名、大学生9名、スタッフ2名で春の森を満喫してきました。

午前中は、「ロマンティック王は誰だ?! プロポーズ大作戦!!」というプログラムを行いました。森を歩き回ってミッションをクリアし、ゲットした言葉を使って、ロマンティックなプロポーズを考えるという、何とも斬新なプログラム。ミッションには、「Yの形の木を見つけ!」「他のグループとじゃんけん!」「春のものを探して!」などがあり、どのグループも、協力しながらミッションをクリアしたり、他のグループと交流したりする様子が見られました。ゲットした言葉を使って真剣にプロポーズ考えた子どもたちは、プロポーズしたいリーダーを前に呼んで披露し、一番ロマンティックだったグループには、キラキラの指輪が贈呈されました! 各グループの個性が光る、楽しい午前プログラムとなりました。

午後からのフリータイムでは、子どもたちが、それぞれの場所でリーダーたちと一緒に遊ぶ姿が見られました。外では、春のものを見つけに森に探検に行ったり、森の中を鬼ごっこで走り回ったり、中

は、アナウンサーごっこやフルーツバスケットをして遊んだりするなどいつもとは違った場所で思いっきり遊びに夢中になっていました。

フリータイムが終わって帰る頃には、子どもたちの口から「楽しかったなあ」「また森の探検隊の活動がしたい!」という声が聞こえてくるほど、楽しい時間を過ごせたようです。帰りのバスの中では、リーダーとお話をしたり、クイズを出し合ったり、ゲームをしたりして過ごしながら帰ってきました。今回は、自然を満喫したり、グループで協力したり、リーダーと遊んだりする中で、子ども達1人1人が輝き、笑顔がたくさん見られた活動になりました。これからも、リーダーたちは沢山の子どもたちと遊べることを心から楽しみに待っています! 皆、遊びに来てください!

斎藤七穂(おむすびリーダー)



2月 バスボムを作ろう！

2月のサンデースクールは、向中野センターでバスボム作りをしました。今回の参加者は31名と、大変多くの子どもたちとの活動でした。コロナ禍で、感染予防の徹底が求められている中、子どもたち自身もマスク、消毒、換気等の対策意識を持っており、リーダーと一緒に対策をしている姿が見られました。大変多くの子どもたちと活動ができたことを、心より御礼申し上げます。

バスボムは、片栗粉・重曹・クエン酸を混ぜ、食紅で様々な色を作ったり丸や星、ハートなどかわいい形に成形したりして作りました。

プラバンづくりも行い、バスボムの中に入れました。子どもたちはお風呂でバスボムを使い、プラバンが出てくることも楽しみにしているようでした。プラバンづくりもバスボムづくりも熱中しており、一人一人の個性が光るバスボムを作ることができました。活動中、同じグループの子のバスボムを見てアイデアを思いついたり、高学年の子が下学年の子に作り方を教えたりする姿が見られました。

今回は、家に持ち帰り使って完成といえる活動でした。「これは妹の!」や「おばあちゃんにあげる!」など、誰かのことを思って作る姿

が見られ、子どもたちの心の温かさを感じることができました。今回のバスボムが家族のつながりをより一層強められるものとなるのではないかと思います。

バスボムは家庭でも簡単に作ることができます。作り方を配布したのでご家族や友達同士でもぜひ作ってみてください。来月のサンデースクールもお待ちしております。

岩手大学3年 榊原夢花(にぼしリーダー)



3月 オリジナルカレンダーづくり♪

今回のサンデースクールでは、私はメインの進行役を務め、みんなで木材を使った万年カレンダーを制作しました。参加してくれた子どもの人数は8人と少ない状況ではありましたが、一人一人がリーダーと関わり合いながら個性的なカレンダーに夢中になっていました。活動前のアイスブレイクとして、木材を使っていろいろな形を作ってみようという遊びからスタートしました。

はじめは家や車など比較的簡単なものから始め、徐々に動物やロボットなど、表現が難しいものへレベルアップさせていきました。

子どもたちも、初めのうちはお題に沿ったものを個人で作っていました。お題の難易度が上がって行くにつれて、グループ内で子どもたちやリーダーと協力し合う姿や、完成したのを見せ合う姿などが見られ、楽しげな雰囲気の中、本題のカレンダー作りが始まりました。今回のカレンダー作りでもっと



も大切なのは、立方体の木材に月日を表す数字を書くこと。どの立方体にどの数字を書くか、ということに気をつけないと365日を表現できないことになってしまうので、リーダーの説明をしっかりと聞いて集中して活動していました。数字を書く工程が終われば、あとはカレンダーを、自分の思うままに飾り付けていく時間になりました。

好きなキャラクターの絵をたくさん描いていた子や、自分で持ち寄ったレースやリボンなどを使って飾り付けをしていた子など、どれもとっても個性的でステキなカレンダーに仕上がっていました。



今回作ったカレンダーを、これからも使い続けてもらっていたらそれ以上に嬉しいことはありません。

岩手大学2年
星野太志(ゲンリーダー)

国際協力募金

11月1日から開始となった、国際協力募金の受け入れは、2月28日をもって、終了となり、今年度、盛岡YMCAに寄せられた募金は総額で210,620円となりました。

今年度はコロナウィルスの影響で、毎年行ってきた、街頭募金を行うことは出来ませんでした。MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校様、学校法人スコール高等学校の敷地内にあるレストラン「パタタ」様、肴町商店街様、モリオカトレーニングクラブ様、LiRiO様(盛岡大通商店街)に、募金箱の設置や、ポスター掲示のご協力を頂くことができました。

広報やフェイスブック等でも周知し、募金の手助けをしていただきました。また、児童クラブやプログラム会員の皆様にも、前年と同じく、温かいご支援を頂きました。皆様から頂いた募金は日本YMCA同盟を通じて、ミャンマーの公衆衛生活動、カンボジアのチャイルドケア(経済的な理由で、学校に通えない子ども達への支援のための活動)、タイの児童保護活動、ベトナムの小学校建設(農村部)、東エルサレムやギリシャの難民支援活動、ネパールで収入

を失った人への生活支援、災害支援、アジアの東ティモールの子どもや若者への教育など、世界各国のYMCAにおける支援活動への支援に充てさせていただきます。

国際協力募金に関わって下さったすべての皆様、ご理解とご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

国際協力募金担当 中村圭一





現在進行形

戦争が終わってすぐ
今まで禁じられていた英語を習うことになる
私は「現在進行形」という言葉に出会った。
わたしは、この言葉がいたく気に入ってしまった。
これって歩くことだ。しかも前を向いて。
これからはこれで生きていこう。
中学1年のわたしは
単純にそう思った。
振り返る昔はあまりにも辛かったから。

「魔女の宅急便」の原作者、角野栄子さんの詠んだ詩だ。言い伝えによると聖徳太子は、一度に十人の訴えを聞き分けることができたという。しかし、本来人間の脳は同時に2つ以上のことを処理することはできないらしい。同時にいろいろなことを考えているように感じるが、実はその瞬間は一つのことを考えているのだ。

新型コロナウイルスの感染拡大が日常生活に影響を与える日々はまだまだ続くことだろう。感染の不安、景気の冷え込みによる収入の減少、コロナ以外にも環境問題、職場や学校での人間関係、家庭内の問題などなど、僕たちの周りは、不安と心配だらけだ。

終戦直後の混乱の中、中学1年生の角野さんは、現在進行形で生きていこうと誓った。現在進行形とは、瞬間、瞬間の連続だ。不安や心配はなくなることはない。でも、今できることに集中しているその瞬間は不安や心配から解放される。なぜなら、人間は同時2つ以上のことは考えられないからだ。部屋の掃除や机の周りの整理整頓、そんな些細なことに集中することから明日へ踏み出す一歩が生まれてくるのかも？

「だから、明日のことを思い煩ってはならない。明日のことは明日
自らが思い煩う。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」
(マタイによる福音書6章34節)

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

※互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと

- 維持会員
- (2021年3月31日現在)敬称略
- 廣川健太郎、廣川厚子、廣川はるな、淺沼誠久、花田瞳、山崎詩織、林間つきみ野教会、照井夏輝、光永尚生、釜ヶ澤亮、齊藤優太、魚住恵、accommon、川坂保広、ガイリンク(株)、小林明彦、人見晃弘、尾張幸久、魚住英昭、清水治彦、若井淳、尾形裕一郎、高瀬稔彦、森山日菜乃、森山幹大、大塚英彦、押切梓、名古屋恒彦、名古屋理恵、今野健男、今野聖子、南原良哉、伊藤眞一、伊藤眞二、石川某、淺沼慧、淺沼美希、佐藤翔、小川嘉文、小川明佑、阿部深雪、高橋友恵、濱塚有史、濱塚真美、武田理恵子、菅原歩、藤原依音、植田一茂、武田悠、向平悟、向平ちひろ、滝川佐渡子、二戸貞文、田村治之、大久保里美、東森聡、田村育代、今野謙治、高橋奈菜、工藤悦子、大関靖二、小山憲彦、伊藤信彦、佐々木隆弘、水田賢次、及川茂夫、菊地弘生、水野暢夫、上中優奈、松尾聡子、増田隆、鶴丹谷三千代、井上修三、井上優子、井上浩太郎、栗谷川香、中原真澄、宮田康男、永山聖子、宮田伸樹、大賀真理、櫻井大樹、大澤秋太郎、和田賢二、織笠友理子、秦江道代、大澤篤人、伊藤眞太郎、杉田未来、山口貴伸、小林茂元、嵯峨力雄、角谷普治、菊地創、小林昭千葉浩三、名古屋謙彦、名古屋美和、佐藤洋一、関根伊作、深澤秀男、深澤多紀子、神田橋慧、神谷一夫、中島敬泰
- 寄附金
- 花田曠、山崎詩織、光永尚生、瀬川利恵、川坂保広、小林明彦、人見晃弘、尾張幸久、高瀬稔彦、今野健男、今野聖子、南原良哉、佐藤翔、高橋友恵、田村育代、及川茂夫、小笠原梨香、菊地弘生、大澤篤人、吉田あさな、武田理恵子



『すきです ゴリラ』

アンソニー・ブラウン作・絵
山下 明生 訳
あかね書房

皆さんは、ゴリラは好きですか？
威風堂々として、貫禄たっぷりです。
私は、動物園でゴリラを初めて
見たとき、その存在感に圧倒され、
尊敬さへ感じました。今回ご紹介す
る本は、ゴリラを大好きな女の子ハ
ナの物語です。ハナはゴリラのこ
とは何でも知りつくしています。
本でもテレビでもゴリラのことな
らいっぱい読んだし、見ました。絵
だって、たくさんかいています。



こんなにゴリラが好きなのに、ハナは一度も生きているゴリラを見たことがないのです。ハナはお父さんと暮らしています。お父さんはいつも仕事で忙しくて、ハナがおねだりしても、動物園に連れていく暇がないのです。明日はハナの誕生日、今度こそ動物園とワクワクしていたのに、もらったのは、おもちゃのゴリラ。ハナはがっかりしてベッドへ入ります...でも、真夜中って不思議なことが起こるのです。ひやとして目が覚めたハナの目の前には、なんと！本物のゴリラがいるのです。
とつても優しくてかっこいいゴリラが「どうぶつえんにいってみよう〜」と誘ってくれます。ハナとお父さんのコートを着て、帽子をかぶったゴリラは夜の街へ。動物園だけでなく、映画もお食事もするのです。
この物語の世界を、ブラウンは豊かに見事に描いています。ハナとお父さんの日常の様子も絵を見れば一目瞭然、ゴリラも素晴らしく描き切っています。ゴリラの声は柔らかいバリトンに感じられ、ハナを幸せなひと時へ導いていくジェントルマンぶりには脱帽です。
多数の絵本がありますが、いつでも子どもの気持ちのそばにいて、温かさがにじみ出る作風です。

NPO法人うれし野こども図書館
高橋 美知子

～ うれし野こども図書館紹介 ～

今回、絵本コラムを書いていただきました、うれし野こども図書館さんをご紹介します。盛岡市若園町にある、盛岡市総合福祉センター3階の一部屋に絵本で囲まれた温かな空気にも包まれた部屋があります。こちらでは、赤ちゃんから大人まで楽しめる本が、なんと約7,500冊以上取り揃えられており、誰でも無料で借りることが出来ます。「子どもに絵本に触れてほしい」と思っている保護者の皆様、「なんとなく本が好きなんだよなあ」というそのあなただぜひ一度足を運んでみてください。

住 所:盛岡市若園町2-2盛岡市総合福祉センター3階
開所日:毎週木曜・土曜
詳しくは、ホームページ【<https://www.ureshino-cl.jp/>】をご確認ください。

表紙の写真から



3月22日から25日まで、小中学生を対象としたプログラミング体験会を開催しました。YMCA、Amazon、life is Techが協力して展開している体験会です。写真は、盛岡YMCAの1、2年生リーダー9名の有志。昨年11月から準備を開始し、会場の予約、参加者の募集、指導者の事前研修、機材の手配など、ほとんどの準備を学校やアルバイトの合間をぬって進めてきました。



最新情報はこちらでチェックできます！「盛岡YMCA」で検索ください。
ホームページ : <https://www.moriokaymca.org/>
facebook : <https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/>